

# 事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	シート区分	ページ
32111	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	2
32113	愛ランド里島構想推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	4
32113	里島地域おこし推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	6
32113	姫ヶ浜荘整備事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	8
32113	姫ヶ浜荘等管理運営事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートA	10
32114	風早レトロタウン構想促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	11
32141	移住定住促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	13
32214	三津浜地区活性化推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	15
61111	地域におけるまちづくり推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	17
61111	地域協働活動応援事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	19
61111	地域おこし活動促進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	21
61112	コミュニティ活動振興事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	23
61121	NPOサポートセンター運営管理事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	25
61121	市民活動推進事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートB	27
69999	表彰制度実施事業	坂の上の雲まちづくり部	まちづくり推進課	シートA	29

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	矢野 幸平	担当者名	副主幹	石川 純	主事	水口 結貴
令和元年度	部局等名	総合政策部(坂の上の雲まちづくり担当)	課等名	坂の上の雲まちづくり担当部長付	担当グループ名	坂の上の雲まちづくり担当	連絡先	948-6996				
	部等長名	片木 悦央	課等長名	金森 和久	リーダー名	主査	石川 純	担当者名	主査	森 晋也		

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	32111	『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	221	個別プログラム 笑顔を育むプログラム			
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト			
施策	選ばれる都市づくり					市長公約	531	主な取り組み 地域資源の利活用と知る機会の充実			
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり						自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります				
取り組みの柱	フィールドミュージアム構想の推進					風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。					
総合戦略	5612	基本目標	⑤暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり)			取組み	2	『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想に基づき、地域資源の利活用により主体的に取り組むNPOや市民団体に対して支援するとともに、地域住民による地域資源の保存・活用・継承等事業に対して支援します。		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	2:無し
		政策	⑥ふるさとづくりの推進								
		施策	①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり								
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)		1:有り						
根拠法令,条例,個別計画等 『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本構想、『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり基本計画書											
事業の目的(どのような状態にするか)	小説『坂の上の雲』の3人の主人公が抱いた高い志とひたむきな努力、夢や希望をまちづくりの基本理念に取り入れて、既存の地域資源を最大限活用し、主人公たちのように夢や希望を持ちながら、官民一体となって「物語」が感じられるまちを目指すもの。										
背景(どのような経緯で開始したか)	市民とともに物語の随所に描かれる松山の特性を再認識しつつ、将来のしっかりとした都市像を描き、その実現に邁進する姿を発信できれば、観光分野はもとより、まちづくりが大いに進展すると考え、市長公約に基づき開始。										
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	『坂の上の雲』のまちづくりに対する市民への周知や、まちづくりへの参加意識の醸成を図るとともに、地域資源を活かした市民活動の支援等を通じて、市民主体のまちづくりを推進する。 ○市民啓発事業 1. 『坂の上の雲』ふるさとウォーク 2. ラジオ広報 3. まちづくりマップ印刷 4. サイクルロゲイング大会 ○市民活動支援事業 1. 『坂の上の雲』フィールドミュージアム活動支援事業 2. 地域の宝みがきサポート事業										
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			『有り』の場合,基準や金額等 『無し』の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	11	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	企画費	R元	予算措置時期	当初
				項	目	目	目					
				H30年度		R元年度		R2年度				
現計予算額(A) (単位:千円)				15,388				13,845		13,851		
決算額(B) (単位:千円)				13,434				11,948				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0				0		0		
	県支出金			0				0		0		
	市債			0				0		0		
	その他			0				0		0		
	一般財源			13,434				11,948		13,851		
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				『坂の上の雲』ふるさとウォーク開催負担金:5,300千円 フィールドミュージアム活動支援事業実施負担金:2,177千円 ・サイクルロゲイング大会開催負担金:1,900千円				『坂の上の雲』ふるさとウォーク開催負担金:5,200千円 フィールドミュージアム活動支援事業実施負担金:3,126千円 ・サイクルロゲイング大会開催負担金:1,900千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		1,954		1,897				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	『坂の上の雲』ふるさとウォーク 『坂の上の雲』フィールドミュージアム活動支援事業 ・サイクルロゲイング大会											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など			活動指標として掲げたフィールドミュージアムサポート委員会と地域との連携したイベントを円滑に実施し、目標を達成できた。また、成果指標に掲げた新規の活動団体は、事業の着実な実施により、新規団体が増加し一定の成果を得ることができた					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			本事業の実施により、フィールドミュージアム構想の実現に寄与している。						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの実施や市民活動が大幅に制限される可能性がある。											
R2年度の目標	『坂の上の雲』のまちづくりに対する市民への周知や、まちづくりへの参加意識の醸成を図るとともに、地域資源を活かした市民活動の支援等を通じて、市民主体のまちづくりを推進する。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)			『坂の上の雲』ふるさとウォーク 『坂の上の雲』フィールドミュージアム活動支援事業 ・サイクルロゲイング大会		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策			イベントの実施時期や方法の再検討,市民活動への支援のあり方について、関係団体とも協議をすすめ、危機的状況の中での施策推進について検討を進める。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①フィールドミュージアムサポート委員会の開催回数	回	目標値	5	5	5	5	5	目標値	5	
			実績値	5	5	6			達成年度	R4年度	
		%	達成度	100.0%	100.0%	120.0%					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	これまでの実績に基づき、まちづくりの専門的な知識を有したサポート委員が、地域資源を活かした市民活動への支援方法を検討するサポート委員会の活動を示す指標			
	本指標の設定理由	地域資源を活かした市民活動への支援方法を検討するサポート委員会の活動を示す指標									
	②地域と連携して実施するイベント開催回数	件	目標値	2	2	2	2	2	2	目標値	2
			実績値	2	2	2			達成年度	R4年度	
		%	達成度	100%	100%	100%					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	開催地域の住民や団体と連携しながら『坂の上の雲』ふるさとワークとサイクルロゲイニング大会を開催することを通して、地域と一体となったまちづくりを進めていく。			
	本指標の設定理由	開催地域の住民や団体と連携しながら『坂の上の雲』のまちづくりイベントを実施し、官民一体となってまちづくりを進めていくため。									
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	地域資源を活かした市民活動を実施した新規団体数	件	目標値	41	44	46	48	50	目標値	52	
			実績値	42	43	46			達成年度	R4年度	
		%	達成度	102.4%	97.7%	100.0%					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	第6次松山市総合計画に掲げる施策の指標に基づき、最終目標を設定した。			
	本指標の設定理由	地域資源を活かした市民活動の充実度を示す指標									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			%	達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	効率的な予算執行やサポート委員会との連携の結果、目標以上の開催を行うことができた。									
	成果指標	委員との連携による事業の周知や着実な実施により、新規団体が増加し目標を達成することができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816	
	部等長名	吉田 健二	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	主任 宮本 智美 主事 岸 風海
令和元年度	部局等名	総合政策部(坂の上の雲まちづくり担当)	課等名	坂の上の雲まちづくり担当部長付	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816	
	部等長名	片本 悦央	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	副主幹 中村 真也 主事 岸 風海

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	32113	愛ランド里島構想推進事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	笑顔を育むプログラム		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					224	重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト	
施策	選ばれる都市づくり				市長公約	主な取り組み	風早・忽那諸島の活性化		
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり					531	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくり出す		
取り組みの柱	愛ランド里島構想の推進				取組み	風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。			
総合戦略	3131	基本目標	③松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)			① 未利用施設や空き家バンクに登録された空き家等、既存ストックを活用する とともに、本市島しょ部において、廃校跡地を活用し、体験滞在型交流施設を整備・活用するなど、お試し居住を推進します。	(総合戦略) 未来プロジェクト、該当有無	1:有り	
	政策	①移住の促進							
	施策	③移住体験・機会の充実							
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)	1:有り						
根拠法令,条例,個別計画等	離島振興法、愛ランド里島構想								
事業の目的(どのような状態にするか)	過疎化・少子高齢化が急速に進む島しょ部(忽那サブセンターゾーン)の持続的な発展と活性化を目的とする。								
背景(どのような経緯で開始したか)	愛ランド里島構想の重点プロジェクトである「定住の促進」「里島ツーリズムの促進」などを目指す取り組みとして開始された。								
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	本市島しょ部の持続的な発展と活性化に資する以下の取り組みを行っている。 ・まつやま里島ツーリズム連絡協議会の活動支援等による里島ツーリズムの推進(対象者:来島者及び島しょ部の住民 補助金の交付先:まつやま里島ツーリズム連絡協議会) ・独身者を対象とした出会いの機会の創出(対象:島しょ部の独身男性 委託先:愛媛県法人会連合会(えひめ結婚支援センター)) ・移住フェアでのPR等による定住の促進(対象:都市部住民ほか) ・島しょ部からの通勤・通学者の支援等による定住の促進、親元を離れて下宿する学生を持つ親への支援、松山北高校中島分校へ通学する生徒への補助 ・離島振興関係団体への加入による情報収集及び情報発信 ・お試し居住施設や里島空き家バンクの整備による定住の促進(対象:移住を考えている方 委託先:興居島体験滞在型交流施設管理組合など) ・愛ランド里島体験ツアー実施による定住の促進(対象:移住を考えている首都圏在住の方)								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合,基準や金額等 「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成 23	～	令和 3	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	離島振興費	R元 予算措置時期	当初
				項	目	目	目				
				H30年度		R元年度		R2年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				42,563		39,184		47,439			
決算額(B)(単位:千円)				39,166		42,685					
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			7,493		6,722		6,619			
	県支出金			0		0		0			
	市債			0		0		0			
	その他			4,074		10,948		4,347			
	一般財源			27,599		25,015		36,473			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						委託料 6,226千円 負担金 1,193千円 補助金 28,777千円		補助金 34,185千円 委託料 8,590千円 負担金 1,197千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		3,397		-3,501			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	まつやま里島ツーリズム連絡協議会への補助金の支出・運営支援 ・里島活性化事業(出会いの機会の創出、移住・離島フェアでのPR等) ・お試し移住施設や里島空き家バンクの整備による定住の促進								
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		出会い創出事業による成婚やお試し移住施設の運営などで定住につながった。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		島しょ部の魅力を活かした事業の実施により、移住定住の促進や交流人口の拡大が図られたため。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント等の実施が大幅に制限される可能性がある。								
R2年度の目標	・里島ツーリズムの推進 ・独身者を対象とした出会いの機会の創出 ・お試し移住施設(神浦定住促進施設、興居島体験滞在型交流施設)、里島空き家バンクなどによる移住・定住の促進 ・お試し移住施設の居住者を定住につなげるため、交流イベントの実施等、安定した管理組合の運営支援 ・姫ヶ浜荘を活用した交流人口の拡大と島の魅力の発信		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		・まつやま里島ツーリズム連絡協議会への補助金の支出・運営支援 ・里島活性化事業(出会いの機会の創出、移住・離島フェアでのPR等) ・通勤通学者等支援事業 ・神浦定住促進施設及び興居島体験滞在型交流施設の管理委託 ・里島空き家バンクの有効活用による定住の促進 ・姫ヶ浜荘を活用した体験メニューの造成等		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策		・イベントの実施時期や周知方法等について、状況を注視しながら関係団体と連携し進める。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	島しょ部への移住定住促進や交流人口拡大に向けた県外でのPR回数	回	目標値	6	5	5	5	5	目標値	5	
			実績値	6	5	5			達成年度	R4年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)									
	本指標の設定理由	「移住定住」や「体験メニュー・イベントの実施」などを直接呼び掛ける機会であり、活動指標としても相応しいため。				最終目標値の設定の考え方	限られた予算の中でPRを実施するため、より効果的なイベントを厳選し出展していくため。				
	出会いの機会の提供数	回	目標値	2	2	2	2	2	2	目標値	2
			実績値	2	2	2			達成年度	R3年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)									
	本指標の設定理由	本事業の内容となる数値であるため。				最終目標値の設定の考え方	毎年度2回以上の出会いの機会の提供を目標とする。				
	空き家情報の収集(調査)件数	件	目標値	10	10	10	10	10	10	目標値	10
			実績値	12	22	22			達成年度	R4年度	
%		達成度	140	220	220						
指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)										
本指標の設定理由	空き家バンク運営のための基礎となる取り組みについての数値であるため。				最終目標値の設定の考え方	1年度あたり中島4~5件、興居島3件、その他の島2~3件の10件程度を想定している。					
成果指標 (3つまで設定可)	里島めぐり体験メニュー参加者数	人	目標値	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	目標値	8,000	
			実績値	8,148	6,630	12,568			達成年度	R4年度	
		%	達成度	102	83	158					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)									
	本指標の設定理由	交流人口の増加を図る指標として相応しいため。				最終目標値の設定の考え方	毎年の実績及び体験メニュー数に基づき、地域住民が無理なく主体的に取り組める適切な数値であるため。				
	提供した出会いの機会を経た成婚数	世帯	目標値	7	9	11	13	15	目標値	17	
			実績値	7	10	12			達成年度	R4年度	
		%	達成度	100	111	109					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標									
	本指標の設定理由	定住人口の増加を図る指標として相応しいため。				最終目標値の設定の考え方	出会いの機会の提供1回あたりにつき1組の成婚を目標とする。(毎年度2回)				
	里島空き家バンクへの新規物件掲載件数	件	目標値	7	14	21	28	35	目標値	42	
			実績値	5	18	39			達成年度	R4年度	
%		達成度	71	129	186						
指標の種類	3:累計での増加を目指す指標										
本指標の設定理由	移住を検討するうえで重要な要素である「住まい」の情報をどれだけ提供することができたかの実績数値であるため。				最終目標値の設定の考え方	調査する空き家の中には、築年数が進んだものや手入れがほとんどなされてなく状態が著しく悪いものもあり、調査した物件全てが掲載できるものでないため、毎年度7件の物件掲載を目標とする。					
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予定通り、都市部でのフェアなどに出展(東京3回、大阪2回)し、移住・定住などのPRが実施できた。</li> <li>・出会い事業では、地域住民等の協力をいただくことで目標を達成できた。</li> <li>・空き家情報の掲載を行い、移住・定住の機会が提供できた。</li> </ul>									
	成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種フェア等を活用し、お試し移住施設や体験メニュー・イベントなどのPRを行うことができた。</li> <li>・専門的なノウハウや豊富な経験を有する団体に業務委託し、イベント後のカップルのアフターフォローを行うことで、成婚への実績につながった。</li> <li>・神浦定住促進住宅入居者のうち1世帯が中島へ、興居島体験滞在型交流施設入居者のうち1世帯が興居島へ定住した。</li> </ul>									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	主任	野瀬 崇晃	主事	山崎 泰平
令和元年度	部局等名	総合政策部(坂の上の雲まちづくり担当)	課等名	坂の上の雲まちづくり担当部長付	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	片本 悦央	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	主任	野瀬 崇晃	主事	奥岡 奈保子

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	32113	里島地域おこし推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	224	個別プログラム	笑顔を育むプログラム	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト
施策	選ばれる都市づくり					主な取り組み	風早・忽那諸島の活性化
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり		市長公約	531	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります		
取り組みの柱	愛ランド里島構想の推進				風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。		
総合戦略	3134	基本目標 ③松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策) 政策 ①移住の促進 施策 ③移住体験・機会の充実	取組み	④ 地域おこし協力隊制度を活用し、地域課題の解決と移住の促進を図ります。		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)	1:有り			
根拠法令,条例,個別計画等	愛ランド里島構想						
事業の目的(どのような状態にするか)	平成24年3月に策定された『愛ランド里島構想』に基づき、構想の重点プロジェクトの一つである定住の促進を図りながら、外部の視点ならではの地域の魅力発信等により、里島ツーリズムの促進も図っていくことで、構想の趣旨である島しょ部の持続的な発展と活性化を目指す。						
背景(どのような経緯で開始したか)	島しょ部の持続的な発展と活性化を目的として策定された『愛ランド里島構想』の重点プロジェクトに位置付けられている。定住の促進とともに、島外の方ならではの視点による地元住民には気づかない景観・歴史・自然といった魅力を発信しながら、里島ツーリズムの促進など地域活性化を図るものとして、平成28年度に本市でもこの制度を導入した。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象:地域おこし協力隊 事業内容:地域おこし協力隊が行う、島しょ部の持続的な発展と活性化のために必要な活動支援を行う。						
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 28	～	令和 3	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	離島振興費	R元	予算措置時期	当初
				H30年度		R元年度		R2年度			
現計予算額(A)(単位:千円)				6,917			10,071	11,403			
決算額(B)(単位:千円)				6,185			7,218				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0			0	48			
	県支出金			0			500	500			
	市債			0			0	0			
	その他			0			0	0			
一般財源				6,185			6,718	10,855			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						非常勤職員報酬4,188千円 協力隊起業支援補助金1,000千円 非常勤職員保険料622千円		会計年度任用職員報酬5,698千円 職員手当1,228千円 協力隊起業支援補助金1,000千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等											
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			732		2,853					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	最長3年間の雇用で、初年度はまず「地域を知る」ことをテーマに、地域の行事・イベントなどに積極的に参加・協力し、SNS等にて情報発信することで、島しょ部の認知度向上を図った。2年目以降は情報発信に加え、自立に向けた活動に取り組むことで、任期終了後の定住につなげる。					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	地域事業に積極的に参加するなど、地域の団体との連携を図るとともに、自立に向けた様々な活動に取り組む、7月任期満了の隊員が定住し起業した。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		R元年度に任期満了となった隊員が、起業して定住に繋がっているため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、隊員の活動が大幅に制限される可能性がある。					
R2年度の目標	新規隊員確保に向け準備を行う。各隊員の定住・起業に向けて、地域や関係機関との連携により、各種補助を行う。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	2年目の隊員には各種研修や地域活動等への参加を促し、起業に向けてのサポートを行う。また、3年目の隊員には起業及び定住に向け各種サポートを行うとともに、新ふる補助金等の手続きも進めていく。採用試験を行い、新規隊員を確保する。		新型コロナウイルスの感染拡大防止により、活動が制限される可能性があるが、今後の動向に注視しながら、地域に根付いた活動を行う。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	SNS等での情報発信回数(1人あたり)	回	目標値	50	50	50	50	50	目標値	50	
			実績値	65	34	37			達成年度	R3年度	
			% 達成度	130	68	74					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	里島ツーリズムの促進など地域活性化にどれだけ貢献したかを測る指標として相応しいため。							単年度で1週間に1回の割合で情報発信を行うため。		
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		% 達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	隊員が連携した地域団体数	団体	目標値	7	8	9	9	9	目標値	10	
			実績値	7	8	10			達成年度	R3年度	
			% 達成度	100	100	111					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	協力隊の持つ視点や考え方を地域団体と共有することで、地域活性化にどれだけ貢献できたかを測る指標として相応しいため。							現在の連携団体先を確保しながら、新たな連携先を開拓していく。		
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		% 達成度									
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	島しょ部でのイベント等の開催数が減ったものの、イベント以外のSNS投稿を増やすことにより情報発信数は微増した。									
	成果指標	積極的に活動することにより、目標としていた数以上の団体と事業連携ができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド離島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	副主幹	中村 真也	主任	野瀬 崇晃
令和元年度	部局等名	総合政策部(坂の上の雲まちづくり担当)	課等名	坂の上の雲まちづくり担当部長付	担当グループ名	愛ランド離島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	片本 悦央	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	副主幹	中村 真也	主任	野瀬 崇晃

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	32113	姫ヶ浜浜整備事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	4:工事(工事に伴う設計委託含む)	
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】					笑顔プログラム	個別プログラム	笑顔を育むプログラム			
政策	都市全体の価値や魅力を向上する						224	重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト		
施策	選ばれる都市づくり					市長公約	531	主な取り組み	風早・忽那諸島の活性化		
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり						531	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります			
取り組みの柱	愛ランド里島構想の推進					取組み	風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。				
総合戦略	基本目標				政策					施策	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)	1:有り							
根拠法令,条例,個別計画等	松山市姫ヶ浜条例, 松山市姫ヶ浜条例施行規則										
事業の目的(どのような状態にするか)	離島振興の施策に取り組むための拠点施設として重要な役割を担っている姫ヶ浜を新たに整備する。										
背景(どのような経緯で開始したか)	姫ヶ浜は築後38年以上経過し、老朽化が著しく、宿泊・入浴・食事の機能も分散して配置されていることから、利用者の安全確保及び利便性の向上を図るため、実施することとした。										
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	姫ヶ浜の更新整備のため、旧施設の解体撤去及び新築に係る工事を行う。 【対象】姫ヶ浜 【事業内容】 解体工事:株式会社坂本重機建設へ工事請負費を支出 新築主体工事:株式会社横田建設へ工事請負費を支出 電気工事:有限会社総聖電設工業へ工事請負費を支出 給排水工事、空調工事:株式会社池田水道へ工事請負費を支出										
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由						
始期・終期(年度)	平成	30	～	令和	2	終期の種別	1:事業の終了時期				

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	離島振興費	R元 予算措置時期		当初	
				H30年度	R元年度	R元年度	R2年度						
現計予算額(A) (単位:千円)				29,890				259,165			363,514		
決算額(B) (単位:千円)				26,239				127,108					
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0				0			0		
	県支出金			0				0			0		
	市債			21,200				124,700			308,500		
	その他			0				0			0		
一般財源			5,039				2,408			55,014			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				・工事請負費:125,979千円				・工事請負費:318,021千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等								予算額のうち132,021千円は前年度繰越分					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)				3,651				132,057	

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・解体工事の実施 ・新築工事の実施 ・地元調整										
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			着実に工事が進んだ点			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	3:貢献していない		左記の理由			完成後の利用により貢献できるため					
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し										
R2年度の目標	整備工事進捗率 100%			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)			・新築工事の実施・完了 ・地元調整			特に無し	
	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策										



【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	実施設計委託の進捗率	%	目標値	-	100	-	-	-	目標値	100	
			実績値	-	100	-	-	-	達成年度	H30年度	
		%	達成度	-	100	-	-	-			
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	実施設計委託の完了				
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指標の前提となるものであるため									
	姫ヶ浜荘整備工事の進捗率	%	目標値	-	-	60	100	-	目標値	100	
			実績値	-	-	75	-	-	達成年度	R2年度	
		%	達成度	-	-	125	-	-			
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	整備工事の完了				
	本指標の設定理由	本事業の目的としている指標のため									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
		%	達成度								
		指標の種類					最終目標値の設定の考え方				
		本指標の設定理由									
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	当初予定した時期に着工できたことや工事の遅延につながる事案も発生せず、円滑に工事を進めることができたことが目標達成につながったと考えられる。									
	成果指標										
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートA>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	主任	野瀬 崇晃	主事	山崎 泰平
令和元年度	部局等名	総合政策部(坂の上の雲まちづくり担当部)	課等名	坂の上の雲まちづくり担当部長付	担当グループ名	愛ランド里島構想推進担当	連絡先	948-6816				
	部等長名	片木 悦央	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	主幹	石川 さおり	担当者名	主任	野瀬 崇晃	主事	宮本 智美

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	32113	姫ヶ浜荘等管理運営事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	3:指定管理	
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する			重点プロジェクト	-		
施策	選ばれる都市づくり			主な取り組み	-		
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり		市長公約				
取り組みの柱	愛ランド里島構想の推進						
総合戦略	基本目標			取り組み			
	政策				(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無		
	施策						
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令, 条例, 個別計画等	松山市姫ヶ浜荘条例、松山市姫ヶ浜荘条例施行規則						
事業の目的(どのような状態にするか)	島しょ部の交流人口拡大による地域の活性化を図るため、島外から中島を訪れる方の 宿泊やキャンプ利用の受け入れ施設である姫ヶ浜荘等の維持管理を行う。						
背景(どのような経緯で開始したか)	平成17年度の市町村合併により、中島町から移管。						
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象(施設): 姫ヶ浜荘・長師休憩所・大串キャンプ場 事業内容: 市内外から利用のある上記対象施設の管理を行う。姫ヶ浜荘は利用料金制の指定管理で指定管理料の支出はない。長師休憩所及び大串キャンプ場は施設のある地元地区へ管理委託料を支出している。そのほか、施設の維持管理に必要な光熱水費や設備点検費用等を支出する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由	松山市姫ヶ浜荘条例(宿泊料、貸室料)及び松山市姫ヶ浜荘条例施行規則(器具利用料)で規定			
始期・終期(年度)	平成	17	～	令和	3	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	離島振興費	R元予算措置時期	
				項	目	当初	R2年度				
				H30年度		R元年度				R2年度	
現計予算額(A) (単位:千円)				7,729		6,239				11,234	
決算額(B) (単位:千円)				7,918		6,042					
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0		0				1,725	
	県支出金			0		0				0	
	市債			0		0				0	
	その他			991		587				2,000	
	一般財源			6,927		5,455				7,509	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				光熱水費1,813千円 サメネット設置、浄化槽保守点検等委託料2,977千円 浄化槽清掃等手数料890千円		光熱水費2,693千円 サメネット設置、浄化槽保守点検、新施設HP・パンフレット作成ほか委託料 5,159千円					
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						H30年度までは「姫ヶ浜ビーチ管理事業」及び「大串キャンプ場管理事業」の2事業で管理していたが、R元年度から「姫ヶ浜荘等管理運営事業」に統合。					
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		-189		197			

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	姫ヶ浜荘等の維持管理業務(指定管理(利用料金制)) 指定管理者:特定非営利活動法人ふれ愛ランド中島					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	姫ヶ浜荘について、解体・撤去工事が始まり、8月中旬から宿泊可能数が約8割減となる中で、利用者数が目標の8割以上となった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		里島ツーリズムや修学旅行、トライアスロン中島大会など、島しょ部地域と来島者の交流人口拡大を図る施策等の拠点として機能するとともに、島しょ部の数少ない宿泊者の受け入れ先として大きな役割を果たしているため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化、障害、課題となっている事項	令和元年8月末をもって、旧姫ヶ浜荘の営業は終了。施設の解体・撤去後、令和2年7月のオープンを目指し新施設を整備する。					
R2年度の目標	適正な施設管理及び運営を行う。 新姫ヶ浜荘の利用者数(宿泊):1,600人以上		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	姫ヶ浜荘等の維持管理業務 指定管理に関する業務 新施設整備に伴う、ホームページやパンフレット作成等業務		夏のオープンに向けて、円滑に運営できるよう、指定管理者と事前の協議等を重ねる。

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	風早レトロタウン構想担当	連絡先	948-6991・6942	
	部長名	吉田 健二	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	副主幹	渡部 美香	担当者名	主事 富永 宏彰
令和元年度	部局等名	総合政策部坂の上の雲まちづくり担当	課等名	坂の上の雲まちづくり担当部長付	担当グループ名	風早レトロタウン構想担当	連絡先	948-6991・6942	
	部長等名	片本 悦央	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	副主幹	渡部 美香	担当者名	主任 竹田 昇司

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	32114	風早レトロタウン構想促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営		
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	224	個別プログラム		笑顔を育むプログラム	
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				重点プロジェクト		わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト	
施策	選ばれる都市づくり				主な取り組み		風早・忽那諸島の活性化	
主な取り組み	まちの特性を生かした魅力づくり		市長公約	531	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります			
取り組みの柱	風早レトロタウン構想の推進				風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。			
総合戦略	5612	基本目標 ⑤暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり) 政策 ⑥ふるさとづくりの推進 施策 ①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり	取組み	②『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想に基づき、地域資源の活用に主体的に取り組むNPOや市民団体に対して支援するとともに、地域住民による地域資源の保存・活用・継承等事業に対して支援します。		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	2:無し	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)	1:有り				
根拠法令,条例,個別計画等	松山市風早レトロタウン構想							
事業の目的(どのような状態にするか)	「坂の上の雲フィールドミュージアム」のサブセンターゾーンとして位置づけられている北条地域の活性化を図るため、地域の抱える課題解決に向けた取り組みを進めることにより、住民一人ひとりが笑顔で暮らせる活気のある地域を目指す。							
背景(どのような経緯で開始したか)	鹿島の渡船利用者が年々減少傾向にあるなど地域資源の魅力を引き出せず、産業でも松山地区への通勤・通学により昼間人口が減少するなど、かつてのにぎわいを失っている。							
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	・北条地域の地元住民や商工関係者、まちづくり協議会等の団体で構成している「風早活性化協議会」が主体となって、北条地域の資源活用事業やイベント開催による誘客事業、北条地域の魅力体験型事業、郷土料理である「北条鯛めし」の普及など、北条地域への誘客に繋げるとともに、交流人口の拡大を図っている。							
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない		「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由				
始期・終期(年度)	平成 24	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	企画費	R元	予算措置時期	当初
				項	目	目	目					
				H30年度		R元年度		R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)						7,285		6,461		6,113		
決算額(B)(単位:千円)						6,802		6,228				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0		0		0		0		
	県支出金			1,235		0		0		0		
	市債			0		0		0		0		
	その他			3,060		3,000		3,000		129		
一般財源			2,507		3,228		3,228		5,984			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						・風早活性化協議会負担金:6,000千円 ・風早活性化事業補助金:100千円		・風早活性化協議会負担金:5,760千円 ・風早活性化事業補助金:200千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						-		-		-		
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		483		233				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	・北条地域の地元住民・団体が構成する「風早活性化協議会」へ負担金を支出し、北条地域の地元住民や団体と協働して地域内外の人に北条地域の魅力に触れてもらう事業を実施した。 ・北条地域のメインイベントである「風早にぎわいレトロまつり」は、これまでの北条地区を中心とした開催から、スポーツ・レクリエーション施設や教育文化施設などが充実した「文化の森(河野別府公園)」で、北条地域全体の交流拠点として開催し、北条地域全体のにぎわいの創出に取り組んだ。						
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	北条地域のメインイベントである「風早にぎわいレトロまつり」では、地域への働きかけによって出店者、出演者数が増加し、北条地域の活性化の取り組みに賛同する団体等が増えた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		各事業の取り組みの結果、交流人口の拡大が図られ、中核エリア・広域エリアの盛り上がりにつながった。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの実施などが大幅に制限される可能性がある。						
R2年度の目標	・地元住民のまちづくりへの意識の高まりを測る指標として、風早活性化協議会会員数55名を目指す。 ・北条地域の歴史や文化、自然を活かし、地域の魅力を知る機会の充実に向けて、北条地域のメインイベントである「風早にぎわいレトロまつり」への出店・出演数60団体を目指す。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	1. 北条地域の地元住民・団体が構成する「風早活性化協議会」への負担金の支出による地域住民が主体となった事業の実施 2. 北条地域の活性化に寄与する活動を行う団体への支援(補助金を支出)		・イベントの実施時期や周知方法等について、状況を注視しながら関係団体と連携し進める。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	風早活性化協議会 会員数	人	目標値	50	55	55	55	55	目標値	55	
			実績値	52	53	54			達成年度	R4年度	
			% 達成度	104.0%	96.4%	98.2%					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方		希望的数値として暫定的に目標とする。			
	本指標の設定理由	地元住民のまちづくり意識の高まりを測る指標として相応しいため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	風早にぎわいレトロま つり出店・出演団体数	団体	目標値	48	49	50	60	60	目標値	60	
			実績値	44	48	56			達成年度	R4年度	
			% 達成度	91.7%	98.0%	112.0%					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方		これまで前年度実績値+1団体を目標としてきたが、令和元年度に会場の規模を拡大したことにより、60団体が最大値と考えていることから、令和2年度から60団体を目標とする。			
	本指標の設定理由	地元住民のまちづくり意識の高まりを測る指標として相応しいため。									
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
	%	達成度									
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対 する評価(達成又は未 達成要因の分析)	活動指標	目標値に達することはできなかったが、風早活性化協議会の活動に賛同する地域住民が、新規で1名増えた。									
	成果指標	令和元年度から会場の規模を拡大し、北条地域全域の団体に当イベントへの出店・出演の促進に取り組んだことから、団体数が前年度より8団体増加し、目標値に達することができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない 定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	定住・移住支援	連絡先	948-6095				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	八塚 健	リーダー名	主査	高垣 真也	担当者名	主任	白石 修介	主事	大森 俊介
令和元年度	部局等名	総合政策部	課等名	シティプロモーション推進課	担当グループ名	移住・定住	連絡先	948-6707				
	部等長名	河合 洋二	課等長名	佐伯 文男	リーダー名	主幹	徳永 直哉	担当者名	主査	大野 美保	主査	高垣 真也

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	32141	移住定住促進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】		笑顔プログラム	118	個別プログラム	笑顔が集まるプログラム
政策	都市全体の価値や魅力を向上する				重点プロジェクト	松山への新しい人の流れをつくる「心ひかれるまちづくり」プロジェクト
施策	選ばれる都市づくり		市長公約	532	主な取り組み	移住促進や移住者の受入環境整備
主な取り組み	移住・定住の促進				自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります	
取り組みの柱	移住の促進		風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。			
総合戦略	3123	基本目標 ③松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策) 政策 ①移住の促進 施策 ②移住相談体制の充実	取組み	③ 松山での暮らしや市内各地域の状況など、移住希望者が必要とする情報を分かりやすく掲載したガイドブックやWebサイトなどを制作し、移住希望者に対して情報提供します。	(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	1:有り
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)	1:有り		
根拠法令,条例,個別計画等	移住候補地として松山市の認知度を獲得することにより、移住検討者に移住地として選ばれるほか、松山に住み続ける人やUターンする人の増加を目的とする。					
事業の目的(どのような状態にするか)	移住候補地として松山市の認知度を獲得することにより、移住検討者に移住地として選ばれるほか、松山に住み続ける人やUターンする人の増加を目的とする。					
背景(どのような経緯で開始したか)	・地方創生先行型交付金の創設 ・本市の暮らしやすさの強みを活かし、移住・定住につながる新規事業を実施					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	対象: 首都圏及び関西圏などの都市部在住の移住希望者(潜在的な希望者も含む)や松山在住の学生等。 事業内容: 下記のとおり 1. 松山アンバサダー拡大事業の実施【R1契約先: 株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ 中国支社 愛媛オフィス】 2. 東京及び大阪で開催される、移住希望者が集うフェアへの出展【R1負担金支出先: 一般社団法人 移住・交流推進機構等】 3. まつやま圏域移住フェアの開催 4. 松山の暮らしを体感する移住ツアーの実施 5. 松山市外の都市部の女性と、松山在住の男性との出会いの場を提供する「まつやま婚ツアー」の実施【R1契約先: 一般社団法人 愛媛県人会連合会】 6. 若者進学・就職ターンの啓発事業の実施【R1契約先: 株式会社 スイッチカンパニー】 7. 移住相談窓口					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 27	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費	R元 予算措置時期	当初
				H30年度		R元年度		R2年度		
現計予算額(A) (単位:千円)				25,122			38,626	35,306		
決算額(B) (単位:千円)				24,974			37,602			
内訳 (単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金		9,759			16,332	15,910			
	県支出金		0			0	0			
	市債		0			0	0			
	その他		0			0	0			
一般財源			15,215			21,270	19,396			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						委託料:31,194千円		委託料:28,735千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						地方創生推進交付金16,332千円		地方創生推進交付金15,910千円		
予算執行残額 (単位:千円)		(A)-(B)		148		1,024				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	1. 松山アンバサダー拡大事業の実施 2. 東京及び大阪で開催される、移住希望者が集うフェアへの出展 3. まつやま圏域移住フェアの開催 4. 松山の暮らしを体感する移住ツアーの実施 5. 松山市外の都市部の女性と、松山在住の男性との出会いの場を提供する「まつやま婚ツアー」の実施 6. 若者進学・就職ターンの啓発事業の実施 7. 移住相談窓口					
主な取組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	移住に関する相談件数、市の移住相談窓口等を通じた県外からの移住者数について、目標値を超える実績となった。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		本業務により、本市への移住定住促進につながっているため。		
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	3	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	目標としてきた「移住に関する相談件数」を達成しており、また、「市の移住相談窓口等を通じた県外からの移住者数」も目標値を達成するなど成果を上げているが、10代・20代の若者の転出超過が続いており、今後は若者の定着やUターンの促進に向けて重点的に取り組む必要がある。					
R2年度の目標	松山の暮らしやすさを発信することにより、松山の認知度の向上を目指すとともに、若者の定住やUターン促進に取り組むことで、若者世代の定着や流入の促進に重点的に取り組んでいく。		R2年度の主な取組み内容(予定含む)	1. 松山アンバサダー拡大事業の実施 2. 東京及び大阪で開催される、移住希望者が集うフェアへの出展 3. まつやま圏域移住フェアの開催 4. 松山の暮らしを体感する移住ツアーの実施 5. 松山市外の都市部の女性と、松山在住の男性との出会いの場を提供する「まつやま婚ツアー」の実施 6. 若者進学・就職ターンの啓発事業の実施 7. 移住相談窓口		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策
						プロジェクトチーム「マツワカ」を結成し、松山の魅力を発信する「松山アンバサダー」を育成する。マツワカメンバーによるウェブサイトやアプリを活用した若者目線での情報発信を実施することで、継続して若者に情報が届き、松山への愛着の醸成されUターンを促進する。

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	移住に関する相談人数	人	目標値	350	540	740	1,140	1,540	目標値	1,540	
			実績値	1,218	1,937	2,537			達成年度	R3年度	
			% 達成度	312	378	300					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	松山への移住検討者数の傾向を把握する指数であるため。							移住検討者数の把握をするため、活動成果の目標値とするもの。		
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
% 達成度											
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	市の移住相談窓口等を通じた県外からの移住者数	人	目標値	460	710	960	1,210	1,460	目標値	1,460	
			実績値	799	1,159	1,631			達成年度	R3年度	
			% 達成度	172	144	189					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標							最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由	県外からの移住者数を把握する指数であるため。							県外からの移住数の把握をするため、活動成果の目標値とするもの。		
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			% 達成度								
	指標の種類								最終目標値の設定の考え方		
	本指標の設定理由										
			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
% 達成度											
指標の種類								最終目標値の設定の考え方			
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	移住WEBサイトや相談体制を充実させることで、予定を上回る移住相談件数を確保できた。									
	成果指標	移住相談体制や移住体験機会の充実に取り組み、予定を上回る移住者数を達成できた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	第4～6回「住みたい田舎ベストランキング」四国エリア1位										

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	三津浜地区活性化担当	連絡先	948-6991-6942	
	部等長名	吉田 健二	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	副主幹	渡部 美香	担当者名	副主幹 森 晋也 主任 大西 一成
令和元年度	部局等名	総合政策部(坂の上の雲まちづくり担当)	課等名	坂の上の雲まちづくり担当部長付	担当グループ名	三津浜地区活性化担当	連絡先	948-6991-6942	
	部等長名	片本 悦央	課等長名	向山 昭彦	リーダー名	副主幹	渡部 美香	担当者名	主任 大西 一成 主事 富永 宏彰

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	32214	三津浜地区活性化推進事業			事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	地域の魅力・活力がふれるまち【産業・交流】				笑顔プログラム	個別プログラム	笑顔を育むプログラム		
政策	都市全体の価値や魅力を向上する					重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住みたいまちづくり」プロジェクト		
施策	観光産業の振興				市長公約	主な取り組み	地域資源の利活用と知る機会の充実		
主な取り組み	観光都市としての魅力向上					531	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります		
取り組みの柱	三津浜地区の観光拠点化				風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。				
総合戦略	5612	基本目標	⑤暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり)			取組み	②『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想に基づき、地域資源の利活用により主体的に取り組むNPOや市民団体に対して支援するとともに、地域住民による地域資源の保存・活用・継承等事業に対して支援します。		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
		政策	⑥ふるさとづくりの推進						
		施策	①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり						
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)		1:有り				

根拠法令,条例,個別計画等	三津浜地区活性化計画								
事業の目的(どのような状態にするか)	「坂の上の雲フィールドミュージアム」のサブセンターゾーンとして位置づけられている三津浜地区の活性化を図るため、港町として栄えた面影が今も息づく歴史や文化など、三津浜地区の魅力ある地域資源を活用し同地区のにぎわいを創出する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	三津浜地区は、港町独自の歴史や文化、魅力ある古民家などが数多く残っているが、港町としてのまちの活力が失われ、商店街では空き店舗が目立つようになっている。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	<b>【対象】</b> 負担金交付先: 三津浜地区にぎわい創出実行委員会 <b>【事業内容】</b> 三津浜地区の新たなにぎわいを創出する取り組みを実施する。 ○三津浜地区にぎわい創出実行委員会 ・三津浜地区にある地域資源を活用しながら、地区内外の多様な人が参画するイベントを開催 ・「三津浜地区の食文化」の普及に向けた取り組み ・チャレンジショップの管理運営 ・三津浜地区のまちづくり活動の支援や「町家バンク」の管理運営を行う「三津ハマル」を開設 ・サブリース物件の整備 ○三津浜地区の活性化に寄与する活動を行う団体に対し、対象経費の2分の1で10万円を限度とした支援を実施								
受益者負担の状況	負担の有無	2:無し	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由		特定の利益に繋がるものではなく、三津浜地区全体の振興を図るものと考えており負担はない。				
始期・終期(年度)	平成	24	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	総務費		総務管理費		目	企画費	R元	予算措置時期	当初
				項	目	目	目					
				H30年度		R元年度		R2年度				
現計予算額(A) (単位:千円)				19,859		19,379		19,800				
決算額(B) (単位:千円)				19,757		19,279		0				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			9,739		9,589		0				
	県支出金			0		0		0				
	市債			0		0		0				
	その他			0		0		0				
	一般財源			10,018		9,690		19,800				
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						・負担金補助及び交付金:19,180千円 ・需用費:57千円 ・役務費:42千円		・負担金補助及び交付金:19,700千円 ・需用費:50千円 ・役務費:40千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						-		-				
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)		102		100				

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	○三津浜地区にぎわい創出実行委員会へ負担金の支出・運営支援 ・イベントの開催 ・三津浜焼きのブランド化 ・チャレンジショップの管理運営 ・町家バンクの管理運営 ・サブリース物件の整備											
主な取り組み内容の達成度	↑	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		地元団体等の地域活性化に対する取り組みと熱意により、活動指標及び成果指標の目標値を達成することができた。						
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、三津浜地区の地域資源を活用した新たな賑わいを創出している。							
事業の公共性	必要性		2		1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性		1		1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない	
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの実施などが大幅に制限される可能性がある。											
R2年度の目標	魅力ある地域資源を活用し、新たな賑わいの創出を図る。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)			○三津浜地区にぎわい創出実行委員会へ負担金の支出・運営支援 ・チャレンジショップの管理運営 ・三津浜焼きのブランド化 ・町家バンクの管理運営 ・サブリース物件の整備 ・プロモーション動画の製作、活用			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策 ・イベントの実施時期や周知方法等について、状況を注視しながら関係団体と連携し進める。		

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	①町家バンクで借り手に紹介する登録物件数	件	目標値	47	71	106	125	128	目標値	134	
			実績値	68	103	122			達成年度	R5年度	
		%	達成度	800	1,167	633					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方			前年度実績値+3件の増加を目標とする			
	本指標の設定理由	町家バンクを運営することによる新たな賑わい創出のための活動量を測る指標として相応しいため									
	②地域と連携して開催するイベント数	件	目標値	1	1	1	1	1	目標値	1	
			実績値	1	1	1			達成年度	R5年度	
		%	達成度	100	100	100					
	指標の種類	6:現状維持を目指す指標(減をよしとする)			最終目標値の設定の考え方			年度毎に実施予定のイベント数を目標とする			
	本指標の設定理由	交流人口を拡大するための活動量を測る指標として相応しいため(将来的には、行政の負担金による支援を受けず、イベントを継続できることが望ましいため、減をよしとした指標としている。)									
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	①町家バンクの借り手と貸し手のマッチング	件	目標値	29	39	55	65	67	目標値	71	
			実績値	37	53	63			達成年度	R5年度	
		%	達成度	500	800	500					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方			前年度実績値+2件の増加を目標とする			
	本指標の設定理由	新たな賑わいを創出する上で指標として相応しいため									
	②地域と連携して開催するイベントの参加人数	人	目標値	24,500	20,000	15,000	15,000	15,000	目標値	15,000	
			実績値	13,973	14,078	16,288			達成年度	R5年度	
		%	達成度	57	70	108					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方			年度毎に実施予定のイベントの目標来場者数を目標とする			
	本指標の設定理由	交流人口の拡大を図る上で指標として相応しいため									
		目標値							目標値		
		実績値							達成年度		
		%	達成度								
指標の種類				最終目標値の設定の考え方							
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	①近年、町家バンクの登録物件を活用した三津浜地区への新規出店が増加していることから、町家バンクの登録物件を引き続き増加させる必要がある。 ②魅力ある地域資源を活用したイベントを開催することができた。									
	成果指標	①マッチング件数が増加することで三津浜地区内の新たな賑わいを創出している。 ②魅力ある地域資源を活用したイベントを開催することで、交流人口の拡大を図ることができた。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容	上記の活動をととして地域住民のまちづくりに対する機運が醸成された。										



令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963	
	部等長名	吉田 健二	課等長名	八塚 健	リーダー名	主幹	宇都宮 聡	担当者名	主査 久保 京介
令和元年度	部局等名	市民部	課等名	市民参画まちづくり課	担当グループ名	地域におけるまちづくり担当	連絡先	948-6963	
	部等長名	津田 慎吾	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	宇都宮 聡	担当者名	主任 村上 周平

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	61111	地域におけるまちづくり推進事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	223	個別プログラム		笑顔を育むプログラム
政策	市民参画を推進する				重点プロジェクト		わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト
施策	市民主体のまちづくり				主な取り組み		まちづくりに携わる団体等への支援
主な取り組み	地域団体活動への支援		市長公約	532	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります		
取り組みの柱	まちづくり協議会などの地域団体への活動支援				風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。		
総合戦略	5616	基本目標 ⑤暮らしと経済を守る(暮らしと経済まちづくり) 政策 ⑥ふるさとづくりの推進 施策 ①市民主体・地域特性を生かしたまちづくり	取組み	⑥地域特性を生かしたまちづくりを住民主体で行うための組織「まちづくり協議会」の普及拡大を図るとともに、事例報告会などとおして、地域住民の地方創生に対する意識の醸成を図ります。		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	2:無し
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)	1:有り			

根拠法令,条例,個別計画等 松山市地域におけるまちづくり条例,まちづくり基本構想,まちづくり基本計画

事業の目的(どのような状態にするか)	住民自治組織「まちづくり協議会」の設立や設立後の支援により、自助・共助の原則に基づく、身近な公益活動を各地区で展開する。これにより、住民主体のまちづくりが推進され、市は一定の権限・財源・責任を移譲することで、地域住民による一層の自己決定、自己責任による地域分権型社会の実現を目指す。					
背景(どのような経緯で開始したか)	近年、住民ニーズの多様化や国際化などにより、求めるものも「モノの豊かさ」から「ココロの豊かさ」への変化が見られるなど、価値観やライフスタイルも多様化している。また、生産年齢人口の減少や長引く経済不況等の影響を受け、財政難から行政サービスの低下が懸念されている。加えて、コミュニティの希薄化も深刻であり、都市部はもちろん、本市でも隣近所とのつながりが薄れてきているといわれている。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	松山市地域におけるまちづくり交付金・補助金の交付先は、まちづくり協議会及びまちづくり協議会準備会が対象。 ①設立支援＝各地区で勉強会や説明会を実施し、同制度の主旨や概要を周知。 ②設立後の支援＝準備会へは、協議会設立のため、会議・打合せに出席し、組織づくりや規約づくりなど技術的支援を中心に実施。協議会設立後は、会議等への出席のほか、まちづくり計画策定支援、事業運営のアドバイスや行政として協働に関する事業への協力。また、各協議会同士の交流や情報交換の機会を提供。 ③まちづくり協議会及び準備会への財政支援。 ④人材育成の一環として、地域の課題解決方法などを学習する「地域応援まちづくり講座」を大学等と連携して実施。 ⑤まちづくり協議会等の取組を周知するための広報活動。 ⑥「まちづくり女子会」の開催支援による女性が活躍する地域の地下づくり。 ⑦「事務員交流会」開催による事務員への情報提供や「まちづくり協議会交流会」開催による各まちづくり協議会の情報交換。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 16	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費	R元 予算措置時期			
									当初	6月補正		
				H30年度				R元年度				
								R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)				65,401				87,231				73,494
決算額(B)(単位:千円)				59,355				80,300				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0				15,254				0
	県支出金			0				0				0
	市債			0				0				0
	その他			0				0				0
	一般財源			59,355				65,046				73,494
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				地域におけるまちづくり交付金 47,525千円 地域におけるまちづくり補助金他 30,637千円				地域におけるまちづくり交付金 49,777千円 地域におけるまちづくり補助金 21,149千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等				6月補正18,482千円追加 流用による減あり								
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)				6,046				6,931

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	まちづくり協議会への支援及び普及拡大を図り、地域におけるまちづくりを推進する。						
主な取組み内容の達成度	↓	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など		設立数については、当初の目標どおり達成することができなかった。今後も引き続き未設立地区への普及拡大に向けた働きかけを行う。		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		同事業により、地域におけるまちづくりが推進され、住民自治の考え方のもと、地域の魅力創出や課題解決等の取組につながっているため。		
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	まちづくり協議会への支援を継続するとともに、普及拡大を推進すること。						
R2年度の目標	まちづくり協議会の普及拡大		R2年度の主な取組み内容(予定含む)		未設立地区への地元説明会等の開催のほか、制度を広く知ってもらうため、これまでのフェイスブックやまちづくり協議会通信「つなぐ」のほか、啓発用DVDを配布し、意識醸成や啓発を強化する。また、事務局員連絡会やまちづくり女子会などを開催し、各まちづくり協議会の連携を深め、更なる活性化につなげていく。		
	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取組み改善策						
	コミュニティ・アドバイザー派遣による意識醸成や周知啓発の強化						

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	フェイスブック松山市 まちづくり情報局の リーチ数	回	目標値	16,000	18,000	20,000	20,000	20,000	目標値	20,000	
			実績値	24,657	10,848	5,134			達成年度	R3年度	
			% 達成度	154	60	25					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方	まちづくり協議会への理解を深めるため、広報啓発に力を入れて取り組んでおり、特に若い世代へのアプローチによる増加を見込んで設定				
	本指標の設定理由	今後、まちづくり協議会の認知度や地域のまちづくりへの関心の高まりを図るため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	まちづくり協議会・設 立準備会の設立数	地区	目標値	27	30	34	37	39	目標値	41	
			実績値	28	30	31			達成年度	R4年度	
			% 達成度	104	100	91					
	指標の種類	3:累計での増加を目指す指標				最終目標値の 設定の考え方	概ね公民館区ごとに41地区で市全域となるため				
	本指標の設定理由	全地区に普及を目指すため									
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
			% 達成度								
	指標の種類					最終目標値の 設定の考え方					
	本指標の設定理由										
			目標値							目標値	
			実績値							達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の 設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対 する評価(達成又は未 達成要因の分析)	活動指標	まちづくり協議会の認知度を高めるため、様々な広報媒体で啓発を進めており、その中でフェイスブックを活用した啓発の実績は、特に若い世代の関心を図る指標として参考になる。令和元年度は、まち協が設立されていない地区への働きかけに重点をおいたため、フェイスブックの掲載回数が少なく、実績値が低かったが、掲載する情報や頻度を的確に捉え、今後更に関心を高めていけるよう取り組んでいく。									
	成果指標	設立数を増やすには、制度や必要性を認識されるまで説明を繰り返し行う必要がある。地域で十分な理解を得るためには時間を要するが、制度の良いところを正しく理解していただくことでまちづくり協議会の設立につなげていく。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	川本 慎一	担当者名	主事	川部 亜莉紗	主事	今西 由季
令和元年度	部局等名	市民部	課等名	市民参画まちづくり課	担当グループ名	自治振興担当	連絡先	948-6963				
	部等長名	津田 慎吾	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	川本 慎一	担当者名	主事	川部 亜莉紗	主事	矢野 さやか

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	61111	地域協働活動応援事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-	
政策	市民参画を推進する			重点プロジェクト	-	
施策	市民主体のまちづくり			主な取り組み	-	
主な取り組み	地域団体活動への支援		市長公約			
取り組みの柱	まちづくり協議会などの地域団体への活動支援					
総合戦略	基本目標	-	取組み	-		(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-		-		
	施策	-		-		
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し			
根拠法令,条例,個別計画等						
事業の目的(どのような状態にするか)	地域協働活動応援事業は、より暮らしやすい地域づくりのため、町内会連合会や町内会・自治会などの地域コミュニティ組織を支援し、また、地域住民が自主的に行う防犯、社会福祉、環境美化などの地域活動を推進する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成25年度の広報委員制度見直しに伴い、これまで広報委員が担っていた広報・広聴業務や防犯活動、募金活動などの地域活動が停滞する懸念があったため、制度見直し後も円滑に地域活動が実施されるよう、平成26年度から、地域が行う様々な活動を支援する本事業を開始した。					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	(1)地域協働団体の支援:松山市内40地区の地域協働団体(まちづくり協議会、町内会連合会など)と地域協働活動の実施に関する協定書を締結し、その協定に基づいて交付金を交付する。また、各地域協働団体が開催する定例会に市職員が出席し、市政の周知や地域に対する依頼を行うほか、地域からの意見や要望を聴くなど、地域との連携を図る。 (2)地域活動保険への加入:地域の方々が安心してコミュニティ活動に参加できるよう、地域協働活動中のケガや事故を対象とした保険制度に加入する。 (3)町内会への加入促進:町内会への加入率の低下により、地域活動の停滞が懸念されることから、町内会等の状況調査を実施して加入率の推移を把握するとともに、町内会加入啓発パンフレットを転入者に配布して啓発を行う。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成 26	～	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期	

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		社会福祉費		市民活動費		R元 予算措置時期	当初	
				目	項	目	項	目	項			
				H30年度		R元年度		R2年度				
現計予算額(A)(単位:千円)					56,437			56,793			56,810	
決算額(B)(単位:千円)					56,351			56,603				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金		0			0			0	
			県支出金		0			0			0	
			市債		0			0				0
			その他		0			0				0
			一般財源		56,351			56,603				56,810
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						負担金補助及び交付金	55,481千円	負担金補助及び交付金	55,750千円			
						役員費	504千円	役員費	706千円			
						職員手当等	357千円	職員手当等	291千円			
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						流用による増あり						
予算執行残額(単位:千円)		(A)-(B)			86			190				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	地域協働団体の支援 地域活動保険への加入 町内会への加入促進											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など	各地区で円滑に事業を進めることができた。							
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本事業の実施により、地域活動が促進された。							
事業の公共性	必要性	1	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	1	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない					
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	住民意識の変化に伴う地域活動への関心の低下によって、町内会への未加入者が増加している。											
R2年度の目標	地域協働団体の支援や町内会加入啓発を継続し、地域活動の促進を目標とする。			R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		地域協働団体への財政支援や地域活動保険の加入により地域活動を促進するほか、町内会への加入促進を図る。			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		各地区定例会に職員が出席し、各地の課題や要望などを把握しながら、地域活動の促進を支援する。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	町内会等への加入促進チラシ活用の案内	回	目標値	-	-	1	1	1	目標値	1	
			実績値	-	-	1			達成年度	R3年度	
			% 達成度	-	-	100					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	町内会連合会の総会の回数を周知目標とした。			
	本指標の設定理由	町内会加入率を上げる指標として相応しいため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	町内会加入率	%	目標値	80	80	81	82	83	目標値	85	
			実績値	75.0	74.6	74.2			達成年度	R5年度	
			% 達成度	94	93	92					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	中核市の町内会加入率調査結果より、高水準の数値を目標とした。			
	本指標の設定理由	地域活動への関心の高まりを測る指標として相応しいため。									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	町内会等への加入を促進するため、勧誘の支援を行う。									
	成果指標	町内会への加入率が減少傾向であるため、今後も加入率の低下に歯止めをかけるよう事業を推進する。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	川本 慎一	担当者名	主事	川部 亜莉紗	主事	今西 由季
令和元年度	部局等名	市民部	課等名	市民参画まちづくり課	担当グループ名	自治振興担当	連絡先	948-6963				
	部等長名	津田 慎吾	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	川本 慎一	担当者名	主任	平松 信裕	主事	川部 亜莉紗

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	61111	地域おこし活動促進事業					事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】					笑顔プログラム	223	個別プログラム	笑顔を育むプログラム	
政策	市民参画を推進する							重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト	
施策	市民主体のまちづくり							主な取り組み	まちづくりに携わる団体等への支援	
主な取り組み	地域団体活動への支援					市長公約	531	自分たちのまちに愛着や誇りをもち、住み続けたい松山をつくります		
取り組みの柱	まちづくり協議会などの地域団体への活動支援							風早・忽那諸島をはじめ、各地域の歴史や文化、自然などを活かし、松山のさまざまな魅力を磨きます。さらに、地域の魅力を知る機会を充実させることで、子どもや若者のシビックプライドを醸成します。		
総合戦略	3134	基本目標	③松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策)			取組み	④ 地域おこし協力隊制度を活用し、地域課題の解決と移住の促進を図ります。	(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無		1:有り
		政策	①移住の促進							
		施策	③移住体験・機会の充実							
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)		2:無し					

根拠法令,条例,個別計画等											
事業の目的(どのような状態にするか)	人口減少等の地域課題を抱える地区に地域おこし協力隊を派遣し、新たな視点での地域活動を推進することで地域の活性化を図る。										
背景(どのような経緯で開始したか)	人口減少等を抱える地域を活性化するため、地域おこし協力隊を派遣し、新たな視点で地域活動を促進する。										
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	地域おこし協力隊派遣地区で受入団体と隊員との協働により、地域資源の発掘や地域の魅力の情報発信、イベント事業の企画等を行い、地域の活性化を図る。 R元年度 五明地区 1名(4月~7月) 北条地域 1名(10月~3月)										
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	平成 28	~	令和 4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期						

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		社会福祉費		市民活動推進費		R元 予算措置時期	当初	
				目	項	目	項	目	項			
				H30年度				R元年度				
現計予算額(A) (単位:千円)				3,737				4,696				3,644
決算額(B) (単位:千円)				3,336				2,998				
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0				0				0
	県支出金			0				0				0
	市債			0				0				0
	その他			0				7				0
	一般財源			3,336				2,991				3,644
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算				報酬		1,790千円		報酬		1,890千円		
				使用料及び賃借料		529千円		使用料及び賃借料		576千円		
				共済費		271千円		職員手当等		410千円		
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等												
予算執行残額(単位:千円)				(A)-(B)				401				1,698

\*決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	北条地域では、地域の魅力を発掘し、その魅力をSNS等を活用して地域内外に発信した。また、五明地区では、総務省の交付金を活用し、地域の名所などを生かし、地域交流拠点の整備や地域活性化を図る事業を実施した。											
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下			左記の理由として良かった点,悪かった点など			地域住民と隊員との協働による展示会などの実施や隊員による地域の魅力の掘り起こしおよび情報発信を行った。また、新たな企画提案で地域の活性化を図ることができた。				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由			地域活性化が図られている。						
事業の公共性	必要性	3	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない				
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	派遣地区内の団体との協働態勢の確立や任期終了後の隊員の定住支援											
R2年度の目標	地域おこし協力隊が引き続き地域と協働し、活性化を図る。				R2年度の主な取り組み内容(予定含む)				地域との協働により地域活動を促進する。		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策	
	地域住民自らが活性化に向けて活動を行えるよう、隊員との協働により地域資源の掘り起こしを行う。											

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)			目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
		%	達成度								
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
成果指標 (3つまで設定可)	地域おこし協力隊採用人数	人	目標値	2	2	4	4	4	目標値	4	
			実績値	2	2	3			達成年度	令和3年度	
		%	達成度	100	100	50					
		指標の種類	3:累計での増加を目指す指標			最終目標値の設定の考え方		派遣地区は各地区の要望等により決定するため、最大目標値とした。			
		本指標の設定理由	採用人数が派遣地区数となるため、成果を表す指標になる。								
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
			%	達成度							
		指標の種類				最終目標値の設定の考え方					
		本指標の設定理由									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
%			達成度								
	指標の種類				最終目標値の設定の考え方						
	本指標の設定理由										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	隊員の派遣には地域からの要望や受入態勢の整備が必要であるため、地域の要望等をもとに状況に応じた採用を検討する。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6963				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	川本 慎一	担当者名	主事	今西 由季	主事	川部 亜莉紗
令和元年度	部局等名	市民部	課等名	市民参画まちづくり課	担当グループ名	自治振興担当	連絡先	948-6963				
	部等長名	津田 慎吾	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	川本 慎一	担当者名	主任	平松 信裕	主事	矢野 さやか

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	61112	コミュニティ活動振興事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	市民参画を推進する			重点プロジェクト	-		
施策	市民主体のまちづくり			主な取り組み	-		
主な取り組み	地域団体活動への支援		市長公約				
取り組みの柱	地域コミュニティ活動の拠点整備						
総合戦略	基本目標	-	取組み			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	
	政策	-					
	施策	-					
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し				
根拠法令,条例,個別計画等	無し						
事業の目的(どのような状態にするか)	旧北条市から引き継いだコミュニティ集会所について、修繕の要望に基づき予算の範囲内で工事をを行い、従来から住民にとって最も身近なコミュニティ活動の拠点となっていた集会所を維持する。活動の拠点を維持することで、地域のコミュニティを保ちながら活動の活性化を図り、住民が主体となったまちづくりの実践に繋げていく。また、災害発生時の一時的な避難場所としても活用することで、住民の安心安全を確保する。						
背景(どのような経緯で開始したか)	北条コミュニティ集会所の修繕等については、従来、市と各区の管理に関する覚書に基づき地元負担となっていた。集会所の老朽化や建物が市有施設であるため、市への修繕の要望が多くなり、平成23年度からは一定の条件を満たす場合に対応することとした。また、平成29年3月に地元から要望があった41地区へ危機管理課が譲渡したアナログ同報系防災行政無線について、修繕した場合には北条地域コミュニティ放送設備修繕費補助金交付要綱に基づき、10万円を限度に1/2を補助する。コミュニティ助成は、地域のコミュニティ活動の推進を目的として松山市内の地域コミュニティ団体を対象に、一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成の要望取りまとめや啓発活動を実施する。						
対象・事業内容(誰に対して,何をやるのか)	北条コミュニティ集会所の修繕等は、当該が管理する85カ所を対象とする。また、消防法で規定された21カ所の集会所について消防機器の保守点検業務等を実施し、地域コミュニティ活動の基盤強化を図る。地区へ譲渡された41ヶ所の「アナログ同報系防災行政無線」(北条地域コミュニティ放送設備)の修繕があった場合は、10万円を限度に1/2を補助する。コミュニティ助成は、地域コミュニティ団体を対象に一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成の要望の取りまとめや周知を実施する。						
受益者負担の状況	負担の有無	1:有り	「有り」の場合,基準や金額等「無し」の場合,その理由	北条コミュニティ集会所の修繕について、工事請負費等の寄付を依頼する。			
始期・終期(年度)	平成	23	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費		社会福祉費		市民活動費		R元 予算措置時期		当初	6月補正	
				目	項	目	項	目	項	R元年度	R2年度			
				H30年度				R元年度				R2年度		
現計予算額(A)(単位:千円)														
決算額(B)(単位:千円)														
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳			国支出金			0				0			0	
			県支出金			0				0			0	
			市債			0				1,200				0
			その他			10,900				12,008				7
			一般財源			5,379				4,406				3,549
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算														
コミュニティ助成事業補助金								12,000千円				3,300千円		
北条コミュニティ集会所の修繕費								5,379千円				138千円		
委託料								138千円				100千円		
北条地域コミュニティ放送設備修繕費補助金														
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等														
6月補正12,200千円追加 流用による減あり														
予算執行残額(単位:千円)			(A)-(B)			0			6,167					

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	北条コミュニティ集会所の修繕及び危険ブロック塀の撤去 北条コミュニティ集会所の消防設備機器点検 コミュニティ助成事業による地域団体支援					
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など	特に無し		
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由	より多くの住民ニーズに対応することができ、地域コミュニティ活動の支援に貢献することができた。			
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない	公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	北条コミュニティ集会所の老朽化により、今後も修繕要望の増加が懸念される。					
R2年度の目標	従来事業を継続して実施することで、住民の自治意識の向上を図り、更なる地域コミュニティの活性化を目標とする。	R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	北条コミュニティ集会所の修繕及び消防設備機器の点検 北条地域コミュニティ放送設備修繕費補助 一般財団法人自治総合センターが実施するコミュニティ助成の要望取りまとめ及び広報活動	特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組み改善策	必要性の高いものから計画的に修繕に取り組み、施設の長寿命化を図る。	

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)		%	目標値						目標値		
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類											
本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方						
成果指標 (3つまで設定可)	集会所の修繕申請に対する対応	%	目標値	100	100	100	100	100	目標値	100	
			実績値	100	100	100	100	100	達成年度	R4年度	
			達成度	100	100	100	100	100			
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)									
	本指標の設定理由	施設の修繕要望に対する対応状況を指標とした。				最終目標値の設定の考え方		施設維持のため、老朽化等による修繕の要望に全て対応することを目標とした。			
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
			達成度								
	指標の種類										
	本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方					
		%	目標値							目標値	
			実績値						達成年度		
達成度											
指標の種類											
本指標の設定理由					最終目標値の設定の考え方						
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標										
	成果指標	修繕要望のあった複数のコミュニティ集会所について、工事を工夫し予算を有効に配分することができた。今後も集会所の老朽化に対応できるよう予算の確保に努める。									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											



令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6330			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	武智 克弥	主事	川部 亜莉紗
令和元年度	部局等名	市民部	課等名	市民参画まちづくり課	担当グループ名	安全安心・防犯・男女・表彰担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	津田 慎吾	課等長名	八塚 健	リーダー名	主幹	担当者名	主査	松田 智樹	主任	笠置 恵美

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	61121	NPOサポートセンター運営管理事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	2:委託
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-		
政策	市民参画を推進する					重点プロジェクト	-		
施策	市民主体のまちづくり				市長公約	主な取り組み	-		
主な取り組み	市民協働の推進								
取り組みの柱	NPOなどへの活動支援								
総合戦略	基本目標	-				取り組み	-		
	政策	-							
	施策	-							
総合戦略							(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無	-	
総合計画の実施計画掲載有無(R元)		1:有り	重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し					
根拠法令,条例,個別計画等	松山市市民活動推進条例、まつやまNPOサポートセンター事業実施要綱								
事業の目的(どのような状態にするか)	市民活動の拠点として、人材育成・情報収集提供等の事業を展開し、NPO等の活動を支援する。								
背景(どのような経緯で開始したか)	平成10年12月に「特定非営利活動促進法」が施行されたことにより、平成13年度に松山NPOサポート委員会を設置し、平成14年7月にまつやまNPOサポートセンターを開設した。								
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	まつやまNPOサポートセンターが対象 実態ニーズ調査、相談・団体個別支援、講座の開催・企画、情報発信(メルマガ等)、市民活動交流などを実施している。 委託先名:特定非営利活動法人 アクティブボランティア二十一								
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等 「無し」の場合、その理由						
始期・終期(年度)	平成	14	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期		

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費	R元 予算措置時期	当初
				H30年度			R元年度		R2年度	
現計予算額(A)(単位:千円)								16,867	17,645	17,857
決算額(B)(単位:千円)								16,783	17,620	
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金							0	0	0
	県支出金							0	0	0
	市債							0	0	0
	その他							0	0	0
	一般財源							16,783	17,620	17,857
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算									NPOサポートセンター運営・事業委託料17,160千円	NPOサポートセンター運営・事業委託料17,388千円
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)								84	25	

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	大規模交流イベントの開催(交流促進業務) 広報活動(情報発信)、よろず相談対応(相談業務) 開催講座(人材育成業務) 個別マッチング、ひとものプラットフォーム(協働促進業務)									
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下	左記の理由として良かった点,悪かった点など			適正な運営管理を行っているため				
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している	左記の理由		相談件数や来場者数が増加しており、市民主体のまちづくりに寄与したため						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し									

R2年度の目標	市民活動の拠点として、人材育成・情報収集提供等の事業を展開し、NPO等の活動を支援する	R2年度の主な取り組み内容(予定含む)	市民と企業と団体の周知と協働 交流イベントの開催(交流促進業務)・市民活動状況周知(情報発信)・よろず相談対応(相談業務)・開催講座(人材育成業務)・ひとのプラットフォーム、企業CSR支援(協働促進業務)	特に環境変化、障害、課題等解決のため、R2年度で取り組む改善策	特に無し
---------	---	---------------------	---	---------------------------------	------

<業績の分析>

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)  
【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	講座の実施回数	回	目標値	15	15	15	15	15	目標値	15	
			実績値	15	17	14			達成年度	R5年度	
			% 達成度	100	113	93					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	定期的に行える講座数として設定			
	本指標の設定理由	人材育成の一環として講座を開催しており、活動の指標となると思われるため									
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				達成度							
	指標の種類						最終目標値の設定の考え方				
	本指標の設定理由										
			%	目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
達成度											
指標の種類						最終目標値の設定の考え方					
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	来場者数	人	目標値	4,400	4,500	4,500	4,600	4,600	目標値	4,600	
			実績値	3,988	4,399	3,365			達成年度	R5年度	
			% 達成度	91	98	75					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	今後、高齢者が増える中で、市民活動に興味や始める人たちが増加する傾向があるため			
	本指標の設定理由	センターが活用されていることを知る指標になると思われるため									
	ホームページアクセス数	回	目標値	10,000	35,000	45,000	45,000	45,000	目標値	45,000	
			実績値	44,594	43,459	50,991			達成年度	R5年度	
			% 達成度	446	124	133					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標					最終目標値の設定の考え方	平成27年度にホームページのリニューアルをしたことに伴い、アクセス数の増加が見込まれるため			
	本指標の設定理由	センターが活用されていることを知る指標になると思われるため									
	相談件数	件	目標値	800	1,500	1,500	1,500	1,500	目標値	1,500	
			実績値	1,538	1,907	1,395			達成年度	R5年度	
% 達成度			192	127	93						
指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)					最終目標値の設定の考え方	限られた人員の中で多様なニーズに対応するために、これまでの目標値を維持させる				
本指標の設定理由	センターが活用されていることを知る指標になると思われるため										
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	講座の内容を設立向けや実務向けなど、活動の成熟度に応じて実施しているため									
	成果指標	高齢者が増える中で、市民活動に興味を持つ人が増加する傾向があると思われる									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度 松山市 事務事業シート <シートB>

評価実施年度	令和2年度	評価対象年度	令和元年度
--------	-------	--------	-------

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6330			
	部等長名	吉田 健二	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	担当者名	主任	武智 克弥	主事	川部 亜莉紗
令和元年度	部局等名	市民部	課等名	市民参画まちづくり課	担当グループ名	安全安心・防犯・男女・表彰担当	連絡先	948-6963			
	部等長名	津田 慎吾	課等長名	八塚 健	リーダー名	主幹	担当者名	主査	松田 智樹	主任	笠置 恵美

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	61121	市民活動推進事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)	事業区分	5:補助金・負担金
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】		笑顔プログラム	223	個別プログラム	笑顔を育むプログラム
政策	市民参画を推進する				重点プロジェクト	わがまち松山への愛着と誇りの醸成による「住み続けたいまちづくり」プロジェクト
施策	市民主体のまちづくり				主な取り組み	まちづくりに携わる団体等への支援
主な取り組み	市民協働の推進		市長公約			
取り組みの柱	NPOなどへの活動支援					
総合戦略	3212	基本目標 ③松山への定着と新しい人の流れをつくる(移住定住対策) 政策 ②定住の促進 施策 ①シビックプライドの向上	取組み	② 若者向けまちづくり提案制度を導入するなど、松山を知り、まちづくりを考え、実践する場の提供に努めます。		(総合戦略) 未来プロジェクト、該当有無
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	1:有り		重点的取組事業該当有無(R元)	1:有り		1:有り

根拠法令,条例,個別計画等 松山市市民活動推進条例、松山市NPO登録要綱、松山市市民活動推進補助金交付要綱

事業の目的(どのような状態にするか)	市民一人ひとりが主体的、自立的にまちづくりを進める社会を実現するため、市民活動の推進に関し必要な施策を実施する。					
背景(どのような経緯で開始したか)	平成10年12月「特定非営利活動促進法」施行 平成11年度 市民活動モデル調査検討会の設置 平成12年度 松山市NPO検討委員会の設置 平成13年度 松山市NPOサポート委員会の設置 平成14～16年度 NPO成熟促進委員会の設置 平成17年度から 市民活動推進委員会の設置					
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	市民活動団体 約200団体が対象 市と市民が一体となって市民活動を支援する仕組みとして市民活動推進基金を設置し、市民活動団体に対して事業費の一部を助成している。また、市民活動団体等の表彰や活動報告会の開催等により市民活動に関する啓発を積極的に行うとともに、官民連携により市民の社会貢献に対する意識の高揚を図る。					
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない	「有り」の場合、基準や金額等「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成	18	～	令和	4	終期の種別 2:事業の継続・終了の検討時期

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般	款	民生費		社会福祉費		目	市民活動推進費	R元 予算措置時期	当初	3月補正
				項	目	目	目					
				H30年度		R元年度		R2年度				
現計予算額(A) (単位:千円)				12,499				13,784		5,954		
決算額(B) (単位:千円)				11,905				13,475		0		
内訳 (単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0				0		0		
	県支出金			0				0		0		
	市債			0				0		0		
	その他			7,865				9,071		5,500		
一般財源			4,040				4,404		454			
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						市民活動団体補助金 5,338千円 負担金 259千円 通信運搬費 200千円		市民活動団体補助金 5,500千円 委員報酬 216千円 通信運搬費 200千円				
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等						3月補正で7,470千円追加						
予算執行残額 (単位:千円)				(A)-(B)		594		309				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取組み内容	NPOなどへの活動支援、協働事業の実施 市民活動団体に対し、事業費の一部を助成(市民活動推進基金)										
主な取組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		市と市民が一体となって市民活動を支援する仕組みへの理解が向上している					
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		市と市民が一体となって市民活動を支援する仕組みへの理解が向上している						
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない			公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない			
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し										
R2年度の目標	継続して、市民活動団体等の表彰や活動報告会の開催等により市民活動に関する啓発を積極的に行うとともに、官民連携により市民の社会貢献に対する意識の高揚を図る。			R2年度の主な取組み内容(予定含む)		市民活動推進基金の継続 庁内の市民活動体験研修の継続			特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策		特に無し

【活動指標】とは…事業の具体的な活動量(アウトプット/「市」が何をしたか)

【成果指標】とは…事業実施により得られる成果(アウトカム/活動の結果、「市民等」がどうなったか)

<業績の分析>

目標達成度	指標名	単位	区分	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	最終目標		
活動指標 (3つまで設定可)	市民活動体験研修受講者	人	目標値	10	15	15	15	15	目標値	15	
			実績値	15	15	24			達成年度	R3年度	
			% 達成度	150	100	160					
	指標の種類	1:単年度での増加を目指す指標				最終目標値の設定の考え方	職員の要望数と受入先のバランスとを調整した結果				
	本指標の設定理由	市民活動推進(NPO)の認知の指標となるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
成果指標 (3つまで設定可)	市民活動推進基金受付件数	件	目標値	120	120	120	120	120	目標値	120	
			実績値	106	101	106			達成年度	R3年度	
			% 達成度	88	84	88					
	指標の種類	5:現状維持を目指す指標(増を良しとする)				最終目標値の設定の考え方	継続して寄付依頼し、現状維持に努めるため				
	本指標の設定理由	市民の社会貢献活動の意識促進の指標となるため									
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
				% 達成度							
	指標の種類					最終目標値の設定の考え方					
	本指標の設定理由										
				目標値						目標値	
				実績値						達成年度	
% 達成度											
指標の種類					最終目標値の設定の考え方						
本指標の設定理由											
上記指標の実績に対する評価(達成又は未達成要因の分析)	活動指標	職員研修に市民活動体験研修を加えることで、市民活動の認知度が上がり、参加者への意識改革につながっていると思われる									
	成果指標	市民活動を支援する仕組み(寄付)への理解が向上していること、寄付控除の制度が浸透してきていると思われる									
上記の指標以外に、指標では表すことができない定性的な成果がある場合、その内容											

令和2年度	部局等名	坂の上の雲まちづくり部	課等名	まちづくり推進課	担当グループ名	市民活動推進担当	連絡先	948-6330				
	部等長名	吉田 健二	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	川本 慎一	担当者名	主事	川部 亜莉紗		
令和元年度	部局等名	市民部	課等名	市民参画まちづくり課	担当グループ名	自治振興・平和保護・表彰担当	連絡先	948-6814				
	部等長名	津田 慎吾	課等長名	八塚 健	リーダー名	副主幹	川本 慎一	担当者名	主査	藤田 ひとみ	主事	川部 亜莉紗

1. 事業概要【Plan】 ※令和元年度の内容

事務事業名(施策コード)	69999	表彰制度実施事業				事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)	事業区分	1:直営	
基本目標	市民とつくる自立したまち【自治・行政】				笑顔プログラム	個別プログラム	-			
政策	その他					重点プロジェクト	-			
施策	その他					主な取り組み	-			
主な取り組み	その他				市長公約					
取り組みの柱	その他									
総合戦略	基本目標	-				取り組み	-			(総合戦略) 未来プロジェクト 該当有無
	政策	-								
	施策	-								
総合計画の実施計画掲載有無(R元)	2:無し		重点的取組事業該当有無(R元)	2:無し						
根拠法令,条例,個別計画等	松山市市政功労者表彰条例、松山市表彰規則									
事業の目的(どのような状態にするか)	本市の名声を高め、郷土の誇りとして、社会の希望と活力の高揚に寄与したもので、広く市民へ感動を与えたもの、又は本市の公益等に尽くしその寄与するところが著しいもの及び市民等の模範となる優れたものに対して表彰を行うことで、市民意識の高揚に貢献することを目的としている。									
背景(どのような経緯で開始したか)	平成12年度に「松山市栄誉賞」「かがやき松山大賞」の2表彰制度を新設し、既存の市長表彰を「きらめき松山市民賞」として整理した。平成24年度には「松山文化・スポーツ栄誉賞」表彰を新設した。									
対象・事業内容(誰に対して、何をやるのか)	「松山市栄誉賞」「文化スポーツ栄誉賞」「かがやき松山大賞」「きらめき松山市民賞」に該当する、松山市にゆかりのある人へ表彰状と副賞等を贈る。									
受益者負担の状況	負担の有無	3:負担する性質でない			「有り」の場合、基準や金額等		「無し」の場合、その理由			
始期・終期(年度)	平成	12	～	令和	4	終期の種別	2:事業の継続・終了の検討時期			

2. 事業実施に係る資源の投入量【Do】

予算科目	会計	一般会計	款	民生費	項	社会福祉費	目	市民活動推進費	R元予算措置時期	
									当初	
				H30年度		R元年度		R2年度		
現計予算額(A)(単位:千円)				770				770		854
決算額(B)(単位:千円)				437				440		
内訳(単位:千円) ※H30→R元 決算内訳, R2→予算内訳	国支出金			0				0		0
	県支出金			0				0		0
	市債			0				0		0
	その他			0				0		0
一般財源			437				440		854	
主な経費(単位:千円) ※R元→決算,R2→予算						報償費 415千円 委託料 22千円 需要費 3千円			報償費 785千円 委託料 66千円 需用費 3千円	
特記事項(単位:千円) ※繰越,補正,流用,事業統合等										
予算執行残額(単位:千円)	(A)-(B)			333		330				

※決算額(内訳含む。)は四捨五入のため、実際の額とは異なる場合あり。

3. 前年度(R元年度)の事業検証・改善【Check・Action】

主な取り組み内容	令和元年度からかがやき松山大賞を年3回程度の表彰式とし、25件表彰した。								
主な取り組み内容の達成度	→	↑:年度当初目標以上 →:年度当初目標どおり ↓:年度当初目標以下		左記の理由として良かった点,悪かった点など		年3回程度の表彰式としたことで、様々な分野で表彰される方を一同に広く市民に知らせることができた。			
施策への貢献度(目的の達成度を含む)	1:貢献している		左記の理由		本市の名声を高める活躍を讃え、広く市民に周知することができた。				
事業の公共性	必要性	2	1:日常生活に不可欠(必需) 2:日常生活に不可欠ではない(選択) 3:どちらにも該当しない		公益性	2	1:より多くの市民に提供(共同型) 2:特定の個人・団体等に提供(個人型) 3:どちらにも該当しない		
R元年度終了までに把握している環境の変化,障害,課題となっている事項	特に無し								
R2年度の目標	市の名声を高め、郷土の誇りとして、社会の希望と活力の高揚に貢献したもので、又は広く市民へ感動を与えたもので、表彰すべき事業・功績を収めたものうち、適当と認められるものに時期を逸することなく実施していく。		R2年度の主な取り組み内容(予定含む)		本市の名声を高める活躍を表彰し、広く市民に周知する。		特に無し		特に環境変化,障害,課題等解決のため,R2年度で取り組む改善策